

新治中部地区

新治中部地区別計画推進委員会

地域 台村町、森の台、寺山町、中山町、上山1～3丁目

明治41年横浜線開通と同時に中山駅が開業し、駅周辺に市街地が形成されました。現在も中山駅を中心に緑区総合庁舎や警察署などの行政機関、福祉保健施設があり、駅前には商店街などの商業施設があります。また、横浜市営地下鉄グリーンラインが平成20年3月開通しました。

一方、南側には県立四季の森公園や長坂谷公園があり、緑豊かな環境となっています。

<主な関連施設>

最寄駅：中山駅（JR横浜線・横浜市営地下鉄グリーンライン）

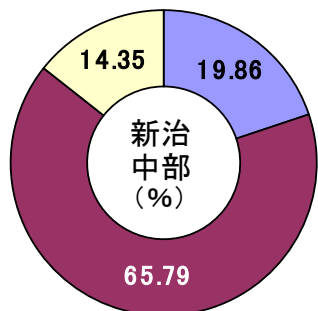
震災時避難場所（地域防災拠点）：上山小学校、中山小学校、中山中学校、森の台小学校

地域ケアプラザ等：横浜市中山地域ケアプラザ

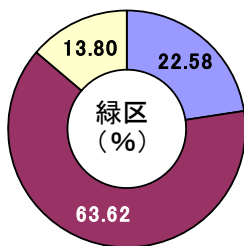
<年齢区分別人口>

平成28年(2016年)9月末

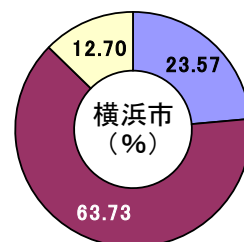
人口比



75歳～	3,046人
65～74歳	3,633人
15～64歳	22,123人
6～14歳	2,941人
0～5歳	1,886人
合計	33,629人

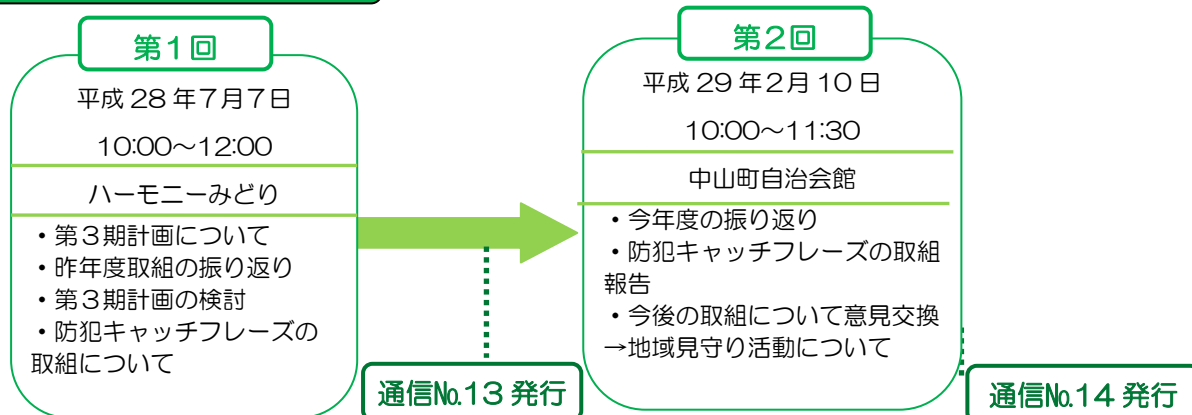


75歳～	18,912人
65～74歳	21,804人
15～64歳	114,730人
6～14歳	15,464人
0～5歳	9,425人
合計	180,335人



75歳～	417,171人
65～74歳	463,289人
15～64歳	2,380,661人
6～14歳	289,593人
0～5歳	184,639人
合計	3,735,353人

地区別計画推進委員会の開催状況



緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成28年度地区別計画推進状況



新治中部地区

台村町、森の台、寺山町、中山町、上山の5つの町で構成



防犯・防災に強い、次世代につながるまちをめざして！

新治中部地区では、2つの目標を掲げて、まちづくりに取り組んでいます。

目標1 防犯・防災に強い、安心できるまちにしたい！

地域の防犯意識を高めるとともに、子どもたちにも安心なまちづくりの大切さを実感してもらうため「防犯キャッチフレーズ」の取組を行っています。

4回目となる今年度は、地区内3つの小学校5年生、中山中学校1年生を対象に募集を行い、応募総数602作品

子どもたちの
アイデアが光る
作品がたくさん！



最優秀作品は、ポスターとして地区内の掲示板に貼り出しています！

の中から34作品を優秀作品として選考し、「地域ふれあいフェスティバル」で表彰しました。着実に、地域に根付いた取組になってきています。

目標2 次世代につながるまちにしたい！



(写真上:「防犯キャッチフレーズ」表彰式の様子)



(写真下:「スポーツ大会」表彰式の様子)

10月には、恒例の「地域ふれあいフェスティバル」を開催し、小・中学生をはじめ、多くの人と一緒に参加・協力しながら秋の1日を楽しみました。

スポーツ大会では、町別となり、同じ地域の子どもから大人までが力を合わせ、優勝に向けて全力で競技に取り組み、地域のつながりをより一層深めることができました。

こうした取組を通じて、次世代の担い手である子どもたちの“地域への思い”を育て、次世代につながるまちづくりを着実に進めています！



(写真右:「第1回地区別計画推進委員会」の様子)

今年度はさらに、地域における高齢者の日常的な見守りについても検討を始め、地域で安心して暮らせるまちづくりに向け取組を進めています！

新治中部地区別計画推進委員会



新治中部 地区別計画推進委員会
平成28年9月発行 第3期 No.1 (通算 No.13)

新治中部 地区別計画推進委員会通信



第3期 新治中部地区 地区別計画がスタートしました!

平成28年7月7日(木)中山地域ケアプラザ多目的ホールにおいて「平成28年度第1回みどりのわ・ささえ愛プラン新治中部地区別計画推進委員会」が開催されました。

当日は、岩間委員長のあいさつで始まり、平成28年度から始まった第3期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」の方向性や「新治中部地区 地区別計画」を改めて確認しつつ、今後の取組について話し合いを行いました。

第3期みどりのわ・ささえ愛プランとは?

誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざし、一人ひとりが主役になり、共に支え合う、つながりのあるまちづくりを進める計画です。区域計画と地区別計画からなり、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所等が連携・協働しながら地域づくりを進めていきます。



新治中部地区別計画 (平成28~32年度)



目標
1

**防犯・防災に強い
安心できるまちにしたい**

- 「防犯キャッチフレーズ」のように小・中学校と地域が連携して啓発できる取組を検討・継続していく。
- 「食事会」や「バスハイク」などの事業を継続して行い、日頃のつながりづくりを進めるとともに、災害時の「自助・共助・近助」に向けた隣近所の関係づくりを進めたい。
- 高齢者等の日常的な見守りについて、体制や取組の検討を行いたい。
- 地域防災拠点間の連携や情報の共有化ができる仕組みを工夫したい。

目標
2

**次世代につながる
まちにしたい**

- あいさつ運動を通して「向こう三軒両隣」で挨拶ができるような、顔の見える関係を築いていく。
- 自治会活動や地域イベントにより、隣近所の付き合いを促進する。
- 地域ふれあいフェスティバルなど、小・中学生をはじめ、多くの人が参加・協力できる取組を検討する。
- 連合自治会を中心に、自治会相互の情報共有を行い、自治会活動の協力を継続したい。
- 定期清掃や学校・家庭・地域連携事業により、人と人との顔の見える関係を築いていきたい。



第1回委員会では、**高齢者等の日々の見守り体制の現状と課題**などについて話し合われました。
その中から主な意見をご紹介します。

- 民生委員として訪問や電話を通し見守りをを行っているが、漏れてしまう人もいる。自治会と連携して見守りを進めていきたい。
- 自分からはなかなか表に出て来ない人への対応が課題。
- 表札が出ていないことにより、情報把握がなかなか出来ない状況がある。
- 住居表示変更を進めており、これに合わせて住民把握ができるかと考えている。
- 民生委員と自治会とが情報共有できると良いが、守秘義務の課題もあり難しい。
- 見守りは一人ではできないので、皆で取り組まなくてはならない。あれもこれもダメというばかりでなく、いかにして共有できるかを考えなくてはならない。

様々な地域の取組を参考に、見守りの検討を進めて行こうということになったよ！



防犯キャッチフレーズ

新治中部地区では、目標1「防犯・防災に強い、安心できるまちにしたい！」を推進し、より地域の防犯意識を高めていくため、平成25年度から地域の小学5年生・中学1年生を対象に“合言葉”となるような標語を募集する取組を行っています。

4回目となる今年も、夏休み期間にたくさんの児童・生徒に標語を考えていただき、計600件もの標語が集まりました！

応募いただいた作品は、審査のうえ優秀作品等を決定し、**10月23日(日)開催の「新治中部ふれあいフェスティバル」**(会場：中山中学校)で表彰を行う予定です。

次世代に防犯の意識をつなげる取組だね！

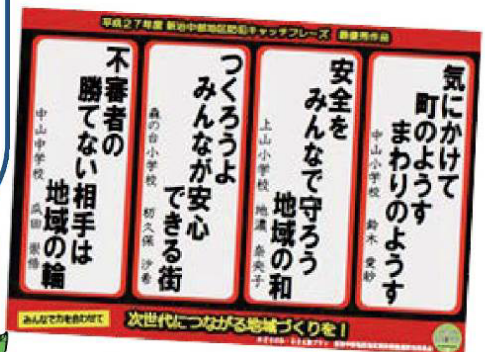


今後のスケジュール

10月23日(日) 新治中部ふれあいフェスティバル
「防犯キャッチフレーズ」表彰式
次回委員会は 12月頃を予定しています！



▲ 第1回委員会の様子



平成27年度 最優秀作品▲

<連絡先>

新治中部地区別計画推進委員会
事務局 緑区福祉保健課

TEL：930-2352



新治中部地区別計画推進委員会
平成29年3月発行 第3期 No.2 (通算No.14)

新治中部地区別計画推進委員会通信

第2回新治中部地区別計画推進委員会を開催しました！



平成29年2月10日（金）に、中山町自治会館において、「第2回新治中部地区別計画推進委員会」を開催しました。

委員会では、平成28年度の取組を振り返るとともに、地区別計画に基づき、安心・安全な地域づくりに向け、今後進めていくべき取組を話し合いました。



第2回推進委員会の様子

第3期みどりのわ・ささえ愛プランとは？

誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざし、一人ひとりが主役になり、共に支え合う、つながりのあるまちづくりを進める計画です。区域計画と地区別計画からなり、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所等が連携・協働しながら地域づくりを進めていきます。



第3期（今後5年間の）新治中部地区別計画の目標

- 目標1：防犯・防災に強い、安心できるまちにしたい
- 目標2：次世代につながるまちにしたい



地区別計画に基づく平成28年度の主な取組

新治中部地区では、地域の防犯意識を高めるとともに、子どもたちにも安心なまちづくりの大切さを実感してもらうために、「防犯キャッチフレーズ」の取組を行っています。

平成28年度は、地区内3つの小学校の5年生、中山中学校1年生を対象に募集を行い、応募総数602作品の中から34作品を優秀作品として表彰しました。

平成25年から始まったこの取組は、今ではしっかりと地域に根付いた取組になってきています。



H28年度 最優秀表彰作品



★委員会での話し合いの内容★

●平成28年度の取組を振り返るとともに、今後の進め方について検討しました！

防犯キャッチフレーズ

平成25年度からスタートし、4年が経過しましたが、「似通った標語が増えて選考が難しい」「中学になっても同じ内容で募集することになる」等の意見も出てきました。

地域にしっかりと根付いた取組になってきていることを踏まえ、今後どのように進めていったらよいかを検討しました。

学校からの意見

- ・防犯を家族と一緒に考える機会になっている。
- ・地域を考える機会となり、考えることで啓発につながっているので、続けてもらいたい。
- ・自分の身を守るだけでなく、地域が守ってくれていることを意識化する良い機会でもある。
- ・表彰されることで子ども達の励みにもなる。ぜひ継続してもらいたい。

地域からの意見

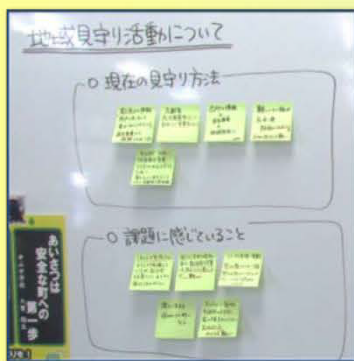
- ・子どもが自分で標語をつくることで、自ら守り、みんなで守るという意識づけにもなっている。
- ・似たような標語が出てくるのは仕方がないが、考えることが大事。卒業後は自分たちが見守る立場にもなるので、意識付けのためにも継続して欲しい。
- ・新治中部地区の取組として定着していくことが大事だと思う。

★決定事項★

- ・防犯キャッチフレーズは引き続き実施。開催時期も、親子で考える機会となる夏休み中で継続。
- ・テーマは、小学生は「防犯」、中学生は「防災」に分けることで重なりを防いでいく。

高齢者の見守り活動

平成28年度は、高齢者の見守りの取組を進めて行くことについて検討をしてきました。12月の地区社協定例会では、他地区の新聞販売店との見守り協定の取組を参考に話し合いを行い、その議論を踏まえて、今後の取組の進め方について検討しました。



主な意見

- ・町内の様子はある程度の情報は得ているが、個別に踏み込むとなると難しさを感じる。
- ・高齢者のひとり暮らしの人は、玄関先で相談を受けることはあるが、中まで踏み込まないと実態はわからない。食事会等を行っても、出てこない人については把握できず、どう広げるかが課題。
- ・民生委員として見守りをしているが、どうしても把握しきれない世帯もある。
- ・難しい議題だが、人命救助の視点で、自治会加入・未加入者に関わらず、連絡があれば対応することが必要と思う。

★今後の方向性★

日頃の活動ではすべてを把握することができないので、自治会以外の人力を借りて、「見守りの目を増やす」取組を考えていく。

まずは、地域の事業者（新聞販売店等）と連携した見守り活動を進めて行きたい。

〈連絡先〉新治中部地区別計画推進委員会事務局
緑区福祉保健課長 TEL：930-2352

来年度も引き続き取り組みを進めて行きます！

